

事務事業名		消防団車両等整備事業				☒ 実施計画登載事業		☒ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	03 やすらぎある安全なまちづくりの推進				事業期間		予算科目				
	施策名	08 消防・救急・救助体制の充実						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 消防体制の充実				☐ 単年度のみ		01	09	01	03	04
根拠法令						☒ 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～)						
所属	部課名	大船渡地区消防組合 大船渡消防署				☐ 期間限定複数年度 【計画期間】						
	課長名	中井 栄一郎				年度 ～ 年度						
	係 名	警防係	電話	27-2119		※全体計画欄の総投入量を記入						
	担当者	村上 成樹	内線	247								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
消防団は、現代社会の安寧に欠かせないものであり、日夜市民の生命、身体、財産の保護に活躍している。この活動を効果的に行うにあたり消防団車両は、不可欠なものであるため、市内の各地域に60台の車両を配置している。この車両の老朽化したものを約20年を目処に計画的に更新する事業である。事業費としては、これらの消防ポンプ自動車と小型動力ポンプ付積載車を更新するための購入費である。 ※ 平成26年4月1日、分団部統廃合により53台となる。 平成26年度、当初計画では自動車ポンプ1台更新予定であったが、消防庁からの消防団への救助資器材搭載型消防ポンプ自動車無償貸付を受けることとなり、その車両を26年度更新予定部に配備する計画としたため、購入による更新はしない。 平成22年度より小型動力ポンプ付積載車は、小型動力ポンプと積載車を分けて購入している。												
総投入量 (千円)		事業費 内訳	全体計画(※期間限定複数年度のみ)									
			国庫支出金									
			都道府県支出金									
			地方債									
			その他									
			一般財源									
			事業費計 (A)		0							
			正規職員従事人数									
			延べ業務時間									
			人件費計 (B)		0							
			トータルコスト(A)+(B)		0							

1 現状把握の部(DO)

① 事務事業の目的と指標											
① 手段(主な活動)											
前年度実績(前年度に行った主な活動)											
消防ポンプ自動車 : 第6分団第2部											
小型動力ポンプ : 第9分団第3部、第10分団第6部(小石浜)											
小型動力ポンプ積載車 : 第9分団第3部、第10分団第6部(小石浜)											
今年度計画(今年度に計画している主な活動)											
消防ポンプ自動車 : 第4分団第4部、第9分団第5部											
小型動力ポンプ : 第4分団第4部、第9分団第5部											
小型動力ポンプ積載車 : 第4分団第4部、第9分団第5部											
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等											
市内各地域の消防団各部が対象											
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)											
車両を更新することにより緊急出動等を含む消防団活動を、円滑に実施してもらえることにより住民の生命、身体、財産が保護される。											
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)											
災害発生時に的確な消防活動ができる。											
⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)											
名称 単位											
ア 消防施設整備消防ポンプ自動車更新台数 台											
イ 消防施設整備小型動力ポンプ更新台数 台											
ウ 消防施設整備小型動力ポンプ積載車更新台数 台											
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)											
名称 単位											
カ 大船渡市消防団の分団各部 部											
キ											
ク											
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)											
名称 単位											
サ 消防施設整備消防ポンプ自動車更新率 %											
シ 消防施設整備小型動力ポンプ更新率 %											
ス 消防施設整備小型動力ポンプ積載車更新率 %											
② 総事業費・指標等の推移											
年度 単位 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標)											
投入量	事業費 内訳	国庫支出金	千 円		29,213	17,701	18,600	18,600	18,600		
		都道府県支出金	千 円								
		地方債	千 円	14,750	17,400	10,400	11,100	11,100	11,100		
		その他	千 円								
		一般財源	千 円	4,969	2,362	1,401	1,300	1,300	1,300		
		事業費計 (A)	千 円	19,719	48,975	29,502	31,000	31,000	31,000		
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4		
		延べ業務時間	時 間	720	720	720	720	720	720		
		人件費計 (B)	千 円	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880		
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	22,599	51,855	32,382	33,880	33,880	33,880		
⑤活動指標	ア	台	-	1	1	0	1	1			
	イ	台	3	2	2	2	2	2			
	ウ	台			2	2	2	2			
⑥対象指標	カ	部	51	51	51	48	48	48			
	キ										
	ク										
⑦成果指標	サ	%	-	100	100	100	100	100			
	シ	%	100	100	100	100	100	100			
	ス	%									

事務事業ID	1116	事務事業名	消防団車両等整備事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和27年4月1日市制施行から消防団が設立され、消防ポンプ自動車や小型ポンプ積載車などが配備された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
車両更新期間が、延長されている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
これらの車両を使用している消防団員から、早期の更新要望が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 消防団車両を更新することにより、消防団活動を円滑に行うことができ市民の安全に寄与できた。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 消防団という組織上、事業費は税金を投入して妥当だと思う。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 今後、消防団員の減少や組織が見直しがされ、車両台数の減が予想される。しかし、車両台数が減じられても市民の安全を守るため、より高度の車両導入が必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 消防団員数の減少による操作員の不足や高齢化に対応するには、水槽付ポンプの導入などが望まれるが、購入費用が増大する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ この活動を行える団体が他にはなく、公共の安全のためのものであり、廃止、休止は考えられない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 類似事業として自主防災、婦人防火クラブ等の団体があり、人口の減少により連携などの必要性がある。団員数の減少により、各団体の統廃合が今後予想されるが、現在は現状維持で努力している。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費を削減することにより、現在よりも性能の劣る車両となってしまう。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 4名で事務を実施しているが、消防車両という特殊な車両であり、車両及びポンプ仕様の精査、入札事務、検収と事務量は多く、時間短縮の可能性はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 現在は、受益者負担がない。

事務事業ID	1116	事務事業名	消防団車両等整備事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 本事務事業は、上記のとおり評価結果が適切であり次年度も現状維持とする。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

	(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
4 事務事業の2次評価結果	2次評価者 大船渡消防署長	中井 栄一郎

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	問題点等についてもよく理解し、適切に事務執行している。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 消防力の維持・向上のためには、計画的に車両等機器を更新する必要がある。 本事務事業は、上記のとおり評価結果が適切であり次年度も現状維持とする。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項